

湯河原町における公共交通の現況把握

(1) 地域特性

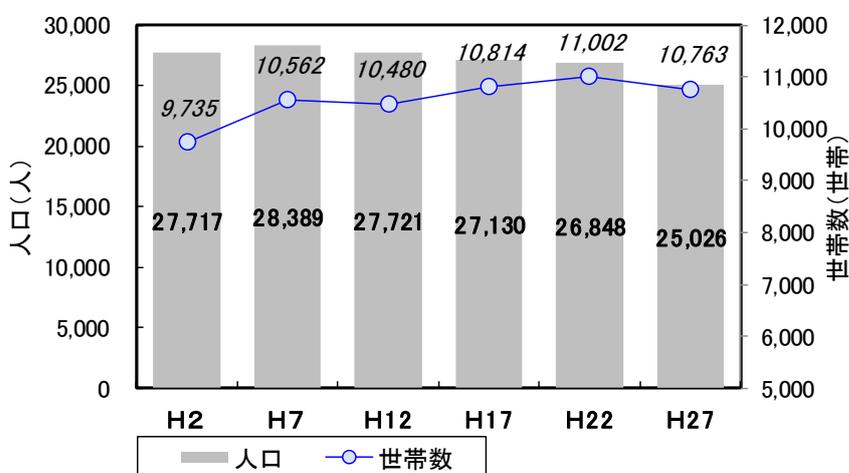
1) 人口動向

①総人口・世帯数の推移

湯河原町は平成 27 年 10 月 1 日現在 (国勢調査)、総人口が 25,026 人、世帯数 10,763 世帯で、推移を見ると、総人口は平成 7 年 (28,389 人) をピークに減少する一方で、世帯数は増加傾向にあり、1 世帯当たり人口が少なくなっている。

「ゆがわら 2011 プラン湯河原町新総合計画 (平成 28 年 3 月)」では、産業振興施策や子育て支援策、更に人口定住対策を推進することにより、平成 32 年の将来人口を 25,000 人と設定している。

■人口及び世帯数の推移

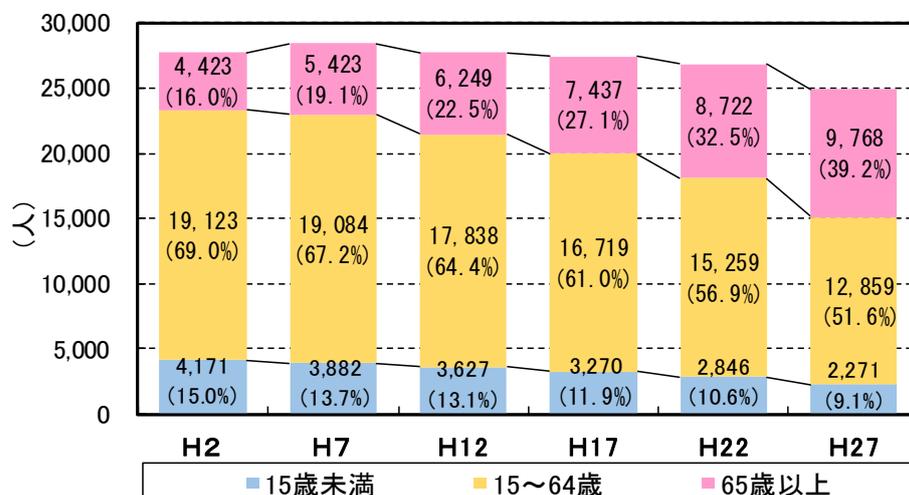


出典：国勢調査 各年 10 月 1 日現在

②年齢 3 区分別人口の推移

年齢 3 区分別人口は、年少人口 (15 歳未満) と生産年齢人口 (15~64 歳) が減少傾向で、高齢人口 (65 歳以上) は 20 年間 (平成 7 年~平成 27 年) で約 1.8 倍に増加し、総人口に占める構成比も 39.2% と大幅に増加している。

■年齢 3 区分別人口構成数 (率) の推移

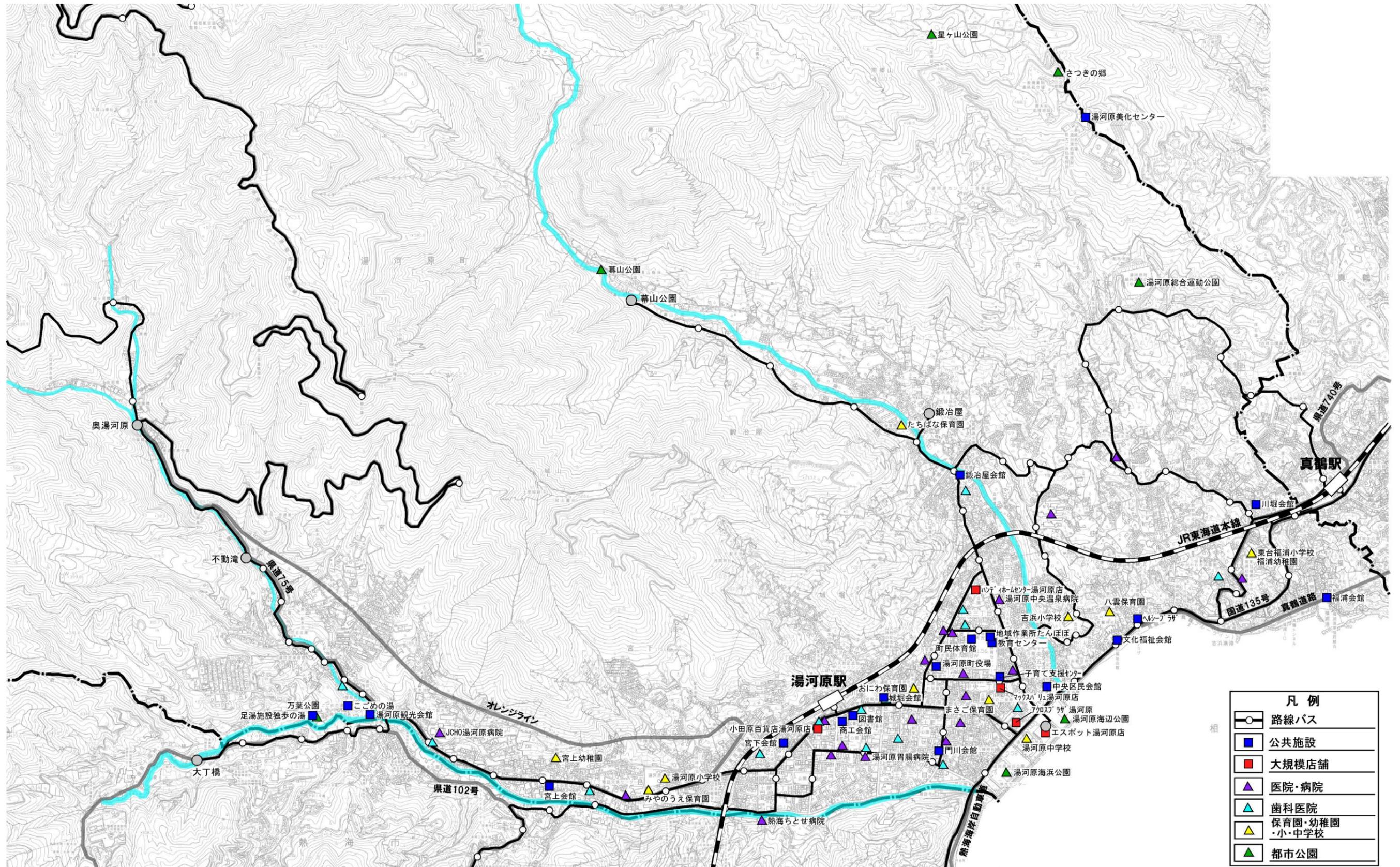


資料：国勢調査 ※上段が実数、下段が構成比を示す

2) 主要施設配置状況

主要施設は湯河原駅より南部エリアに公共施設や大規模店舗などが多数集積し、また、県道75号沿線の温泉場周辺にも点在している。

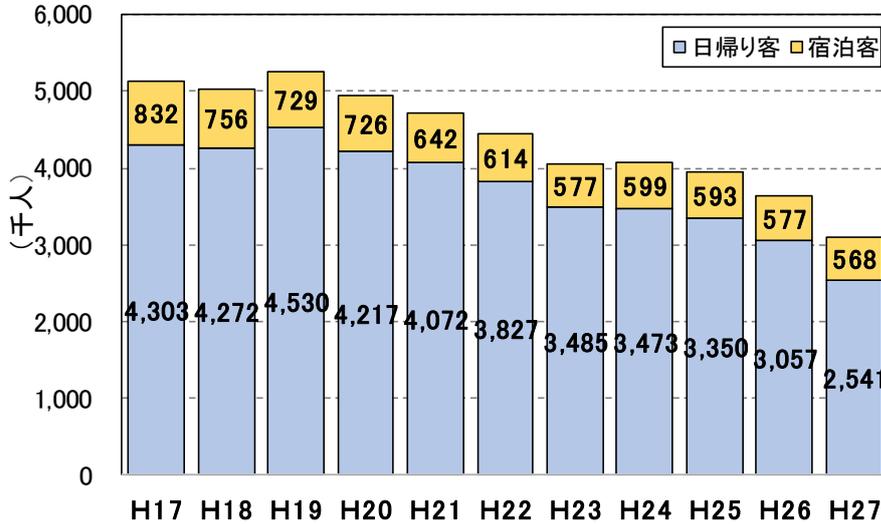
■主要施設配置状況



3) 観光客数の推移

湯河原町は、温泉、海水浴場、ゴルフコース及びハイキングコース等のレクリエーション地としての観光資源を有している。観光客数の推移は平成 19 年をピークに減少傾向にあり、平成 27 年の観光客数は 3,109 千人/年で、そのうち日帰り客は東京から 100 km 以内に位置していることもあり、約 82%を占めている。

■観光客数の推移



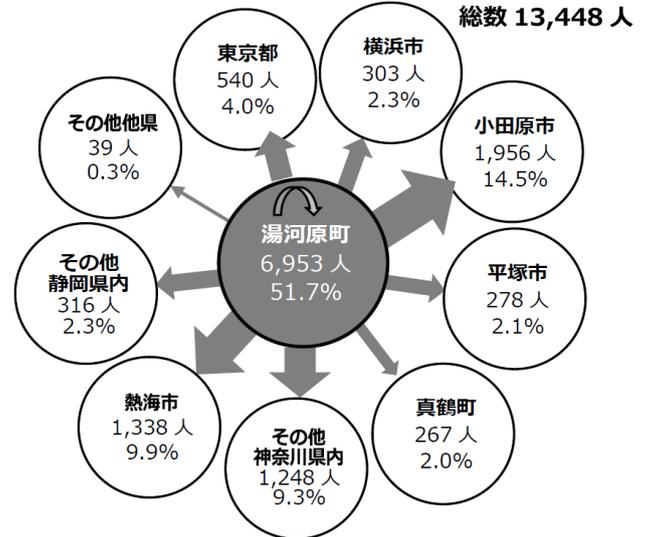
出典：平成 29 年版湯河原町統計要覧

(2) 交通手段特性

1) 通勤・通学流動

湯河原町の通勤・通学流動は、湯河原町内が全体 51.7%と最も多く、次いで小田原市が 14.5%、熱海市が 9.9%と多くなっている。

■常住地による従業・通学市町村



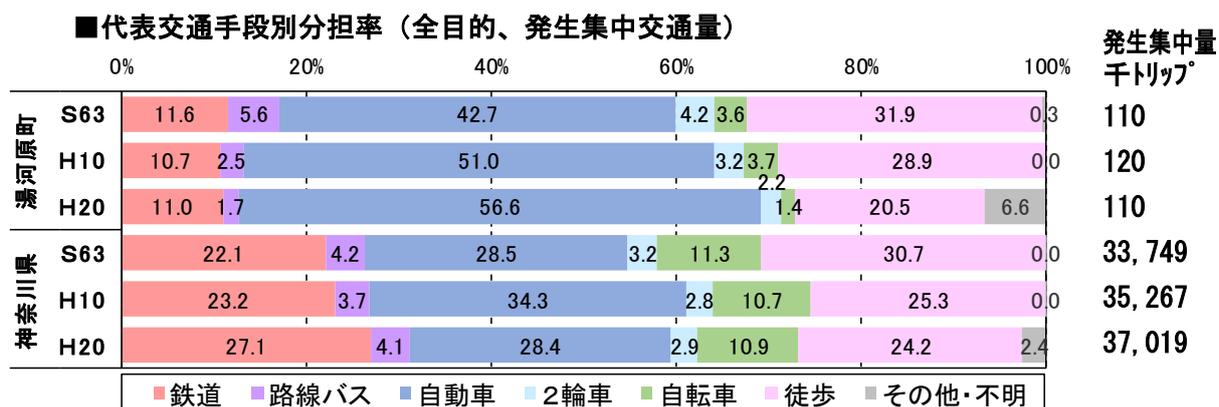
出典：平成 22 年国勢調査

2) 東京都市圏パーソントリップ調査による交通手段特性

①代表交通手段

湯河原町の代表交通手段分担率（平成 20 年）は、自動車分担率が 56.6%と最も多く、神奈川県全域（28.4%）より顕著に高く、一方で、バスは 1.7%と神奈川県全域（4.1%）より低くなっている。

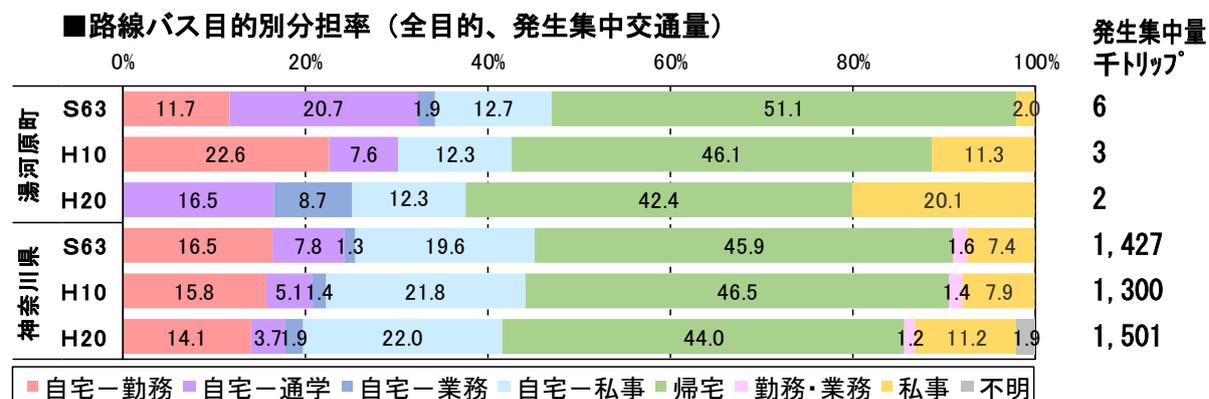
昭和 63 年から平成 20 年にかけて、自動車分担率が増加し、路線バス、徒歩、2 輪車が減少している。



※自動車：乗用車、軽乗用車、貨物自動車・軽貨物車、自家用バス・貸切バス、タクシー・ハイヤー
 二輪車：自動二輪車（51cc 以上）、原動機付自転車（50cc 以下）

路線バス目的別分担率を見ると、「自宅－勤務」が減少し、「私事」が増加している。

「私事」目的は、湯河原町だけでなく、神奈川県全域でも増加している。



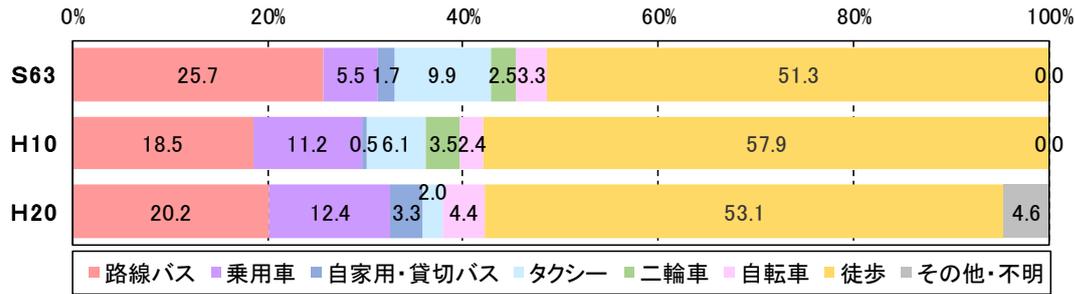
②鉄道駅端末交通手段

湯河原駅の端末交通手段総トリップ（※）数は、昭和 63 年が 10,964 トリップに対し、平成 20 年が 9,510 トリップと 0.87 倍減少している。

端末交通手段分担率を見ると、平成 10 年から平成 20 年にかけて路線バス、乗用車、自家用・貸切バス及び自転車が增加し、タクシー、二輪車、徒歩が減少している。

※トリップ：人がある目的を持って、ある地点からある地点への移動する単位で、1 回の移動で幾つかの交通手段を乗り換えても 1 トリップと数える。

■鉄道駅別端末交通手段分担率

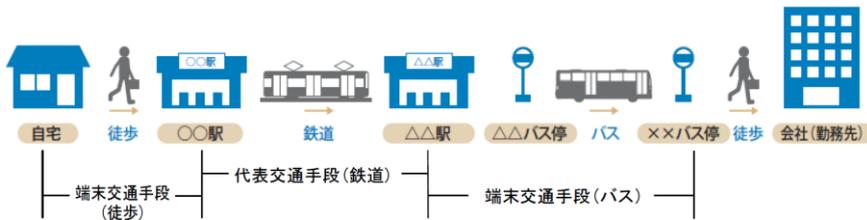


(参考1) 東京都市圏パーソントリップ調査とは

：東京都市圏（東京都・神奈川県・埼玉県・千葉県・茨城県南部）を対象に、「どのような人が」「どのような目的で」「どこからどこへ」「どのような交通手段で」移動したかなど、ある人の平日における1日の動きを調べるもので、10年ごとに実施。

(参考2) 代表交通手段と端末交通手段とは

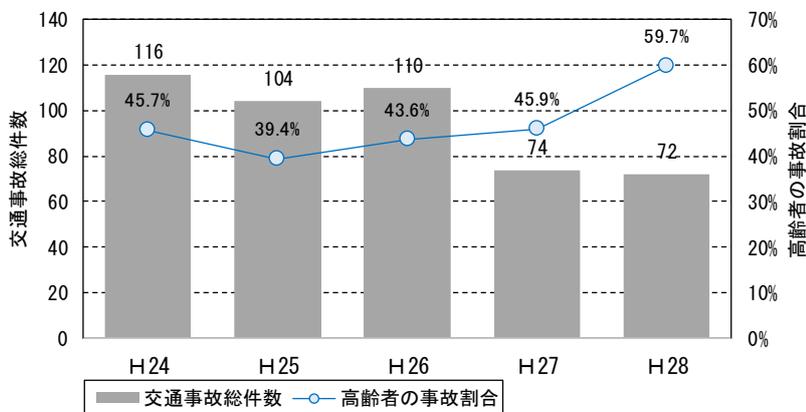
：1つのトリップの中で、幾つかの交通手段を乗り換えた場合、そのトリップの中の主な交通手段を代表交通手段、出発地・目的地と代表交通手段をつなぐ交通手段を端末交通手段という。主な交通手段の集計上の優先順位は、鉄道→バス→自動車→二輪車、徒歩の順としている。下図の場合、鉄道が代表交通手段で、自宅から〇〇駅までは端末交通手段（徒歩）、△△駅から××バス停までは端末交通手段（バス）となる。



3) 交通事故状況

町内交通事故総件数は、直近5年間で減少傾向で、高齢者の事故件数も同様に減少傾向（H24：53件→H28：43件）にあるものの、総件数に対する高齢者の事故割合は増加傾向となっている。

■町内交通事故件数及び高齢者の事故割合



出典：平成29年版湯河原町統計要覧

(3) 既存公共交通の現状

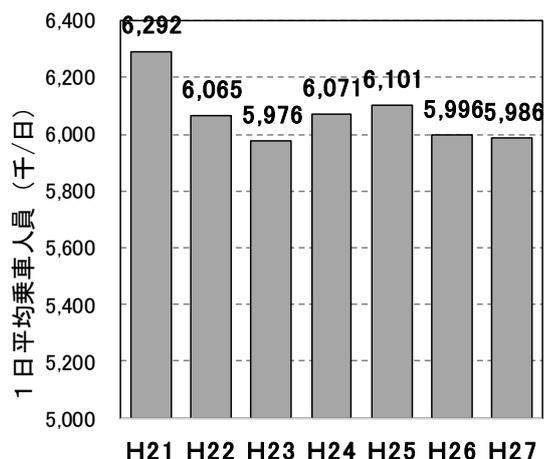
①鉄道・民間路線バス

湯河原町の鉄道は JR 東海道本線及び JR 東海道新幹線により構成され、JR 東海道本線は町内に湯河原駅のみで、JR 東海道新幹線は小田原駅及び熱海駅で接続し、利用可能となっている。

湯河原駅の年間乗車人員は近年横ばい状態で、過去 5 年間の増減率 (H23/H27) は 1.0 倍と人口 (0.97 倍 (H23: 27,269 人→H27: 26,442 人)) よりも上回っている。

民間路線バスは、箱根登山バス、伊豆箱根バス及び伊豆東海バスの 3 社により、湯河原駅を起点に 12 系統が運行されている。

■湯河原駅 1 日平均乗車人員の推移



出典：平成 29 年版湯河原町統計要覧

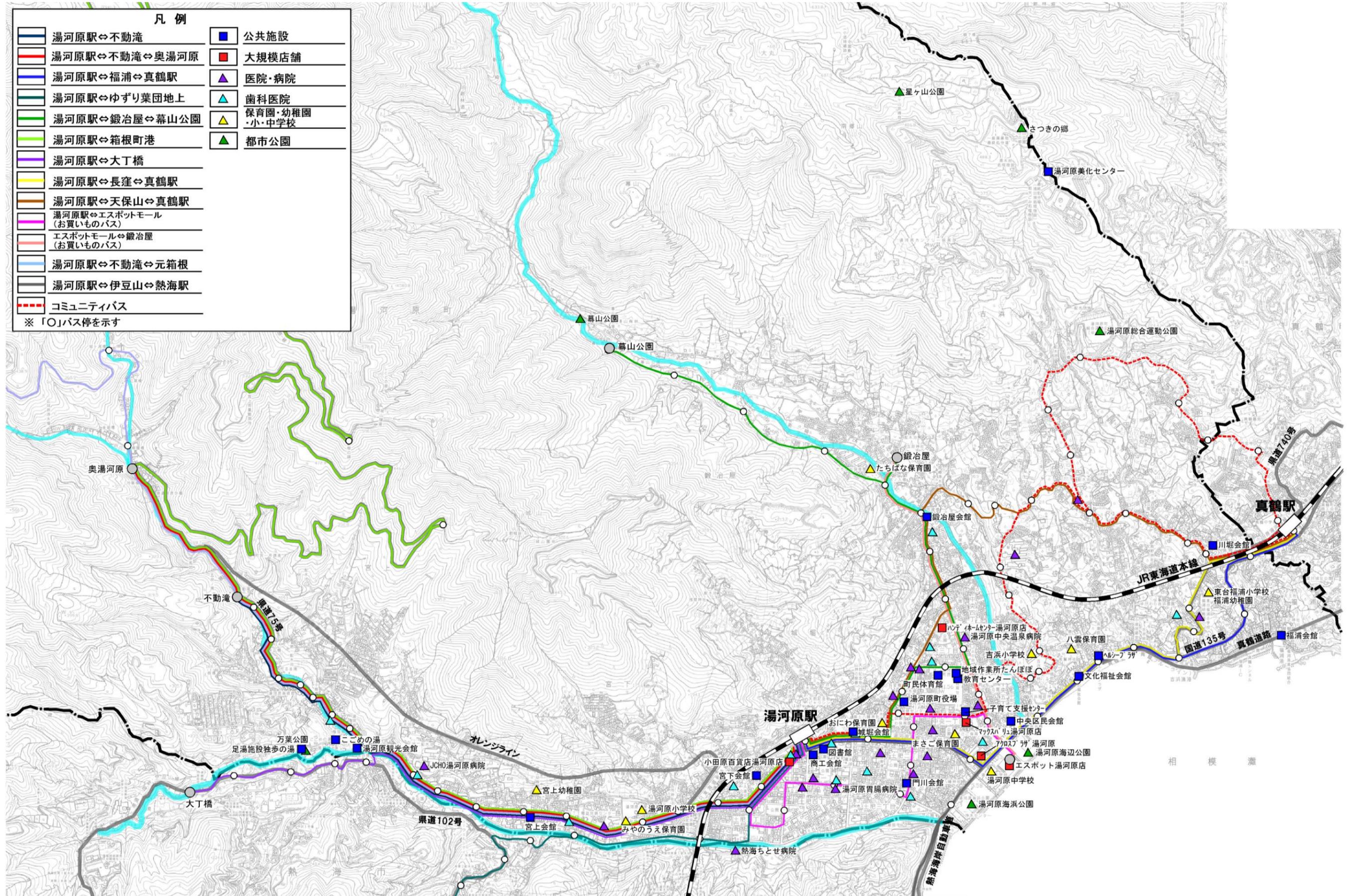
■路線バス運行便数

会社名	系統名	平日	土日祝
箱根登山バス・伊豆箱根バス	湯河原駅⇔不動滝	17.5	17.5
	湯河原駅⇔不動滝⇔奥湯河原	55.5	55.0
箱根登山バス	湯河原駅⇔福浦⇔真鶴駅	5.0	3.0
	湯河原駅⇔ゆずり葉団地上	13.0	12.0
	湯河原駅⇔鍛冶屋⇔幕山公園	34.5	31.5
	湯河原駅⇔奥湯河原入口⇔箱根町港	3.0	3.0
	湯河原駅⇔大丁橋	2.0	—
	湯河原駅⇔長窪⇔真鶴駅	19.5	19.0
	湯河原駅⇔天保山⇔真鶴駅	12.0	11.0
	湯河原駅⇔エスポートモール (お買いものバス)	8.5	7.5
	エスポートモール⇔鍛冶屋 (お買いものバス)	3.0	3.0
伊豆箱根バス	湯河原駅⇔不動滝⇔元箱根	1.0	1.0
	湯河原駅⇔福浦⇔真鶴駅	1.0	1.0
伊豆東海バス	湯河原駅⇔伊豆山⇔熱海駅	8.0	7.0

■鉄道・民間路線バスの運行ルート図

凡例			
	湯河原駅⇔不動滝		公共施設
	湯河原駅⇔不動滝⇔奥湯河原		大規模店舗
	湯河原駅⇔福浦⇔真鶴駅		医院・病院
	湯河原駅⇔ゆずり葉団地上		歯科医院
	湯河原駅⇔鍛冶屋⇔幕山公園		保育園・幼稚園 ・小・中学校
	湯河原駅⇔箱根町港		都市公園
	湯河原駅⇔大丁橋		
	湯河原駅⇔長窪⇔真鶴駅		
	湯河原駅⇔天保山⇔真鶴駅		
	湯河原駅⇔エスポートモール (お買いものバス)		
	エスポートモール⇔鍛冶屋 (お買いものバス)		
	湯河原駅⇔不動滝⇔元箱根		
	湯河原駅⇔伊豆山⇔熱海駅		
	コミュニティバス		

※「○」バス停を示す



②湯河原町コミュニティバス

ア) 運行サービス

湯河原町では、高齢者や交通弱者の支援、交通不便地域の解消を目的に、平成12年7月から運行を開始し、平成27年4月からより利用者が使いやすいバスを目指して、1日11便のうち3便を一部経路変更した「ゆめ公園・兎沢経由便」を運行している。

■湯河原町コミュニティバスの運行サービス

運行区間	湯河原駅～真鶴駅
所要時間	20分（ゆめ公園・兎沢経由は25分）
運行便数	11往復22便/日（うち3往復6便はゆめ公園・兎沢経由）
運行時間帯	午前7時20分～午後7時15分
運賃	大人210円、小人110円（小学生） ※Pasmo・Suica利用可能
定期券	○通勤用：1ヶ月8,820円/3ヶ月25,140円/6ヶ月47,630円 ○通学用：1ヶ月7,560円/3ヶ月21,550円/4ヶ月28,730円
運行事業者	箱根登山バス株式会社

■湯河原町コミュニティバスの運行ルート図



湯河原町コミュニティバス時刻表

(平成 27 年 4 月 1 日～)【真鶴駅行き】

停留所名称	時 刻											
	7:20	8:20	9:15	10:20	11:20	13:15	14:20	15:20	16:30	17:30	18:30	
湯河原駅	7:20	8:20	9:15	10:20	11:20	13:15	14:20	15:20	16:30	17:30	18:30	
城堀	7:21	8:21	9:16	10:21	11:21	13:16	14:21	15:21	16:31	17:31	18:31	
広崎公園前	7:22	8:22	9:17	10:22	11:22	13:17	14:22	15:22	16:32	17:32	18:32	
ヤオハン前	7:23	8:23	9:18	10:23	11:23	13:18	14:23	15:23	16:33	17:33	18:33	
幕山公園通り	7:24	8:24	9:19	10:24	11:24	13:19	14:24	15:24	16:34	17:34	18:34	
新崎橋	7:25	8:25	9:20	10:25	11:25	13:20	14:25	15:25	16:35	17:35	18:35	
千歳ヶ岡	7:26	8:26	9:21	10:26	11:26	13:21	14:26	15:26	16:36	17:36	18:36	
吉浜小学校前	7:27	8:27	9:22	10:27	11:27	13:22	14:27	15:27	16:37	17:37	18:37	
花水	7:28	8:28	9:23	10:28	11:28	13:23	14:28	15:28	16:38	17:38	18:38	
ゆうゆうの里前	7:29	8:29	9:24	10:29	11:29	13:24	14:29	15:29	16:39	17:39	18:39	
白沼田	7:30	8:30	9:25	10:30	11:30	13:25	14:30	15:30	16:40	17:40	18:40	
前栗場	7:31	8:31	9:26	10:31	11:31	13:26	14:31	15:31	16:41	17:41	18:41	
前栗場配水池	---	---	9:27	---	---	13:27	---	---	16:42	---	---	
ゆめ公園下	---	---	9:28	---	---	13:28	---	---	16:43	---	---	
ゆめ公園	---	---	9:29	---	---	13:29	---	---	16:44	---	---	
兔沢	---	---	9:30	---	---	13:30	---	---	16:45	---	---	
下兔沢	---	---	9:31	---	---	13:31	---	---	16:46	---	---	
真鶴聖苑入口	---	---	9:32	---	---	13:32	---	---	16:47	---	---	
真鶴中学校	---	---	9:33	---	---	13:33	---	---	16:48	---	---	
天保山	7:32	8:32	---	10:32	11:32	---	14:32	15:32	---	17:42	18:42	
庵寺前	7:33	8:33	---	10:33	11:33	---	14:33	15:33	---	17:43	18:43	
川堀	7:34	8:34	---	10:34	11:34	---	14:34	15:34	---	17:44	18:44	
福浦入口	7:35	8:35	9:34	10:35	11:35	13:34	14:35	15:35	16:49	17:45	18:45	
真鶴駅	7:40	8:40	9:40	10:40	11:40	13:40	14:40	15:40	16:55	17:50	18:50	
所要時間	20分	20分	25分	20分	20分	25分	20分	20分	25分	20分	20分	

※ ゴシック文字は、ゆめ公園・兔沢経由便です。

湯河原町コミュニティバス時刻表

(平成 27 年 4 月 1 日～)【湯河原駅行き】

停留所名称	時 刻											
	7:45	8:45	9:45	10:45	11:45	13:45	14:45	15:45	17:00	17:55	18:55	
真鶴駅	7:45	8:45	9:45	10:45	11:45	13:45	14:45	15:45	17:00	17:55	18:55	
福浦入口	7:46	8:46	9:46	10:46	11:46	13:46	14:46	15:46	17:01	17:56	18:56	
川堀	7:47	8:47	9:47	---	11:47	13:47	---	15:47	---	17:57	18:57	
庵寺前	7:48	8:48	9:48	---	11:48	13:48	---	15:48	---	17:58	18:58	
天保山	7:49	8:49	9:49	---	11:49	13:49	---	15:49	---	17:59	18:59	
真鶴中学校	---	---	---	10:47	---	---	14:47	---	17:02	---	---	
真鶴聖苑入口	---	---	---	10:48	---	---	14:48	---	17:03	---	---	
下兔沢	---	---	---	10:49	---	---	14:49	---	17:04	---	---	
兔沢	---	---	---	10:50	---	---	14:50	---	17:05	---	---	
ゆめ公園	---	---	---	10:51	---	---	14:51	---	17:06	---	---	
ゆめ公園下	---	---	---	10:52	---	---	14:52	---	17:07	---	---	
前栗場配水池	---	---	---	10:53	---	---	14:53	---	17:08	---	---	
前栗場	7:50	8:50	9:50	10:54	11:50	13:50	14:54	15:50	17:09	18:00	19:00	
白沼田	7:51	8:51	9:51	10:55	11:51	13:51	14:55	15:51	17:10	18:01	19:01	
ゆうゆうの里前	7:52	8:52	9:52	10:56	11:52	13:52	14:56	15:52	17:11	18:02	19:02	
花水	7:53	8:53	9:53	10:57	11:53	13:53	14:57	15:53	17:12	18:03	19:03	
吉浜小学校前	7:54	8:54	9:54	10:58	11:54	13:54	14:58	15:54	17:13	18:04	19:04	
千歳ヶ岡	7:55	8:55	9:55	10:59	11:55	13:55	14:59	15:55	17:14	18:05	19:05	
新崎橋	7:56	8:56	9:56	11:00	11:56	13:56	15:00	15:56	17:15	18:06	19:06	
幕山公園通り	7:57	8:57	9:57	11:01	11:57	13:57	15:01	15:57	17:16	18:07	19:07	
ヤオハン前	7:58	8:58	9:58	11:02	11:58	13:58	15:02	15:58	17:17	18:08	19:08	
広崎公園前	7:59	8:59	9:59	11:03	11:59	13:59	15:03	15:59	17:18	18:09	19:09	
城堀	8:00	9:00	10:00	11:04	12:00	14:00	15:04	16:00	17:19	18:10	19:10	
湯河原駅	8:05	9:05	10:05	11:10	12:05	14:05	15:10	16:05	17:25	18:15	19:15	
所要時間	20分	20分	20分	25分	20分	20分	25分	20分	25分	20分	20分	

※ ゴシック文字は、ゆめ公園・兔沢経由便です。

イ) 利用状況

年間利用者数（平成 28 年度）は 76,992 人/年、1 便平均が 9.6 人/便で、直近 5 年間は微増傾向となっている。

運行収支（平成 28 年度）は運行経費 15,581 千円に対し、運賃収入が 14,889 千円と 692 千円の若干の赤字で、直近 5 年間の収支率は 9 割前後となっている。

■年度別利用者数及び運行収支の推移

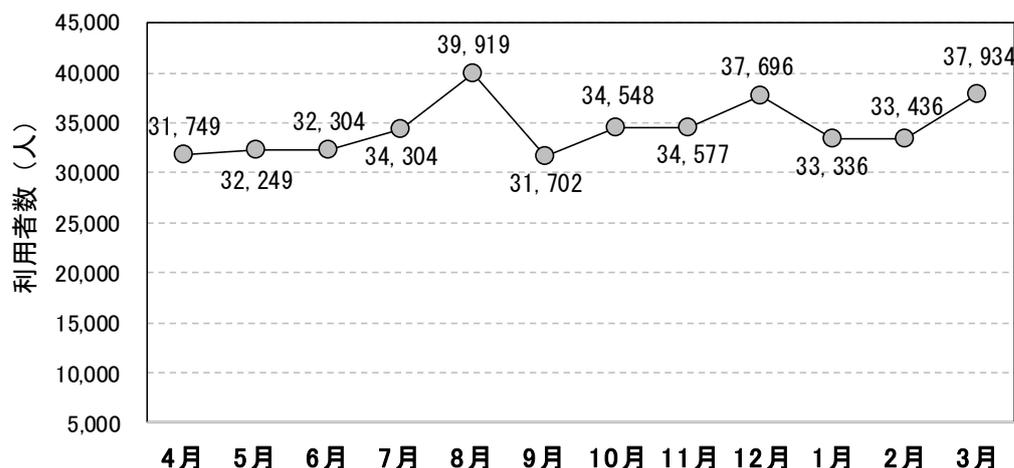
年度	運行収支(千円)					年間利用者数(人)			1便平均人数(人/便)
	運賃収入(A)	運行経費(B)	赤字補填額(A)-(B)	前年度比較運賃収入	収支率	大人	子供	合計	
H12※	10,347	11,949	△ 1,602		86.6%	51,140	1,244	52,384	8.7
H13	14,158	15,931	△ 1,773	3,811	88.9%	70,130	1,349	71,479	9.0
H14	17,205	15,931	1,274	3,047	108.0%	85,433	1,212	86,645	10.8
H15	17,623	15,959	1,664	418	110.4%	87,461	1,307	88,768	11.1
H16	17,357	17,229	128	△ 266	100.7%	86,288	1,051	87,339	10.9
H17	17,109	15,918	1,191	△ 248	107.5%	85,463	237	85,700	10.7
H18	17,276	14,688	2,588	166	117.6%	86,049	108	86,157	10.8
H19	17,046	14,718	2,328	△ 230	115.8%	85,212	40	85,252	10.7
H20	17,142	15,376	1,766	96	111.5%	88,039	31	88,070	11.0
H21	15,911	15,536	375	△ 1,231	102.4%	83,958	48	84,006	10.5
H22	14,999	15,717	△ 718	△ 912	95.4%	78,244	5	78,249	9.8
H23	14,544	15,521	△ 977	△ 454	93.7%	75,774	12	75,786	9.8
H24	13,720	15,380	△ 1,660	△ 824	89.2%	71,803	2	71,805	9.0
H25	13,367	15,508	△ 2,141	△ 353	86.2%	69,850	4	69,854	8.7
H26	14,914	16,074	△ 1,160	1,547	92.8%	74,244	13	74,257	9.3
H27	14,382	15,780	△ 1,398	△ 532	91.1%	75,137	8	75,145	9.4
H28	14,889	15,581	△ 692	508	95.6%	76,947	45	76,992	9.6

※平成12年は7～3月の合計。(4～6月は実証実験期間)

③タクシー

湯河原町では、5 社（箱根登山ハイヤー、伊豆箱根交通㈱、湯河原タクシー(株)、真鶴タクシー(有)、門川ハイヤー(有)）が運行中で、平成 28 年度利用者数は年間 41.4 万人となっており、月別に見ると、8 月が最も多くなっている。

■平成 28 年度月別タクシー利用者数（5 社合計） 出典：各タクシー会社提供資料



④公共交通不便地域の抽出

公共交通不便地域は、町の大部分が丘陵地で、町域の約70%が山林と起伏に富んだ地形となっているため、丘陵地（平地の半分程度）を考慮した歩行距離の場合、点的に存在し、道路幅が狭く路線バスが運行できない場所となっている。

■公共交通不便地域（鉄道駅より半径500m以遠、バス停半径150m以遠）

1 推定世帯数、推定人口

エリア	推定世帯数	推定人口(人)	年代構成 (%)				
			0~20歳	21~40歳	41~60歳	61~80歳	81歳以上
A (温泉場)	165	300	7	11	25	41	15
B (オレンジライン)	611	1,200	11	14	27	36	10
C (城堀)	191	417	11	16	26	38	6
D (鍛冶屋)	395	936	16	16	29	32	5
E (吉浜)	420	934	15	14	29	34	5
F (川堀)	209	468	11	16	24	41	6
G (福浦)	188	434	9	11	24	41	11
計	2,179	4,689	12	14	27	36	8

※ 平成29年1月1日現在 全12,673世帯、全人口25,681人

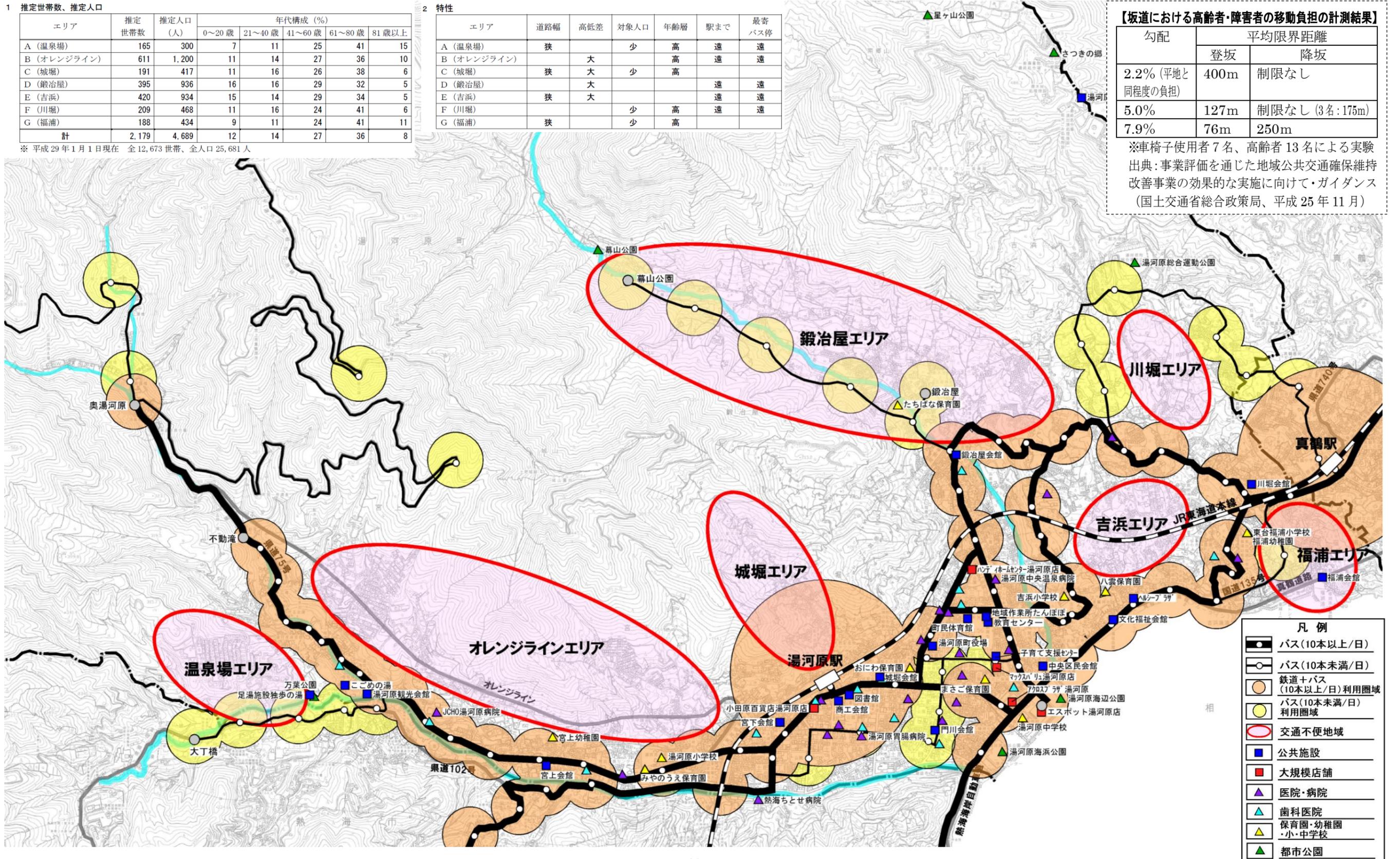
2 特性

エリア	道路幅	高低差	対象人口	年齢層	駅まで	最寄バス停
A (温泉場)	狭	大	少	高	遠	遠
B (オレンジライン)	狭	大	少	高	遠	遠
C (城堀)	狭	大	少	高		
D (鍛冶屋)	狭	大			遠	遠
E (吉浜)	狭	大			遠	遠
F (川堀)	狭		少	高	遠	遠
G (福浦)	狭		少	高		

【坂道における高齢者・障害者の移動負担の計測結果】

勾配	平均限界距離	
	登坂	降坂
2.2% (平地と同程度の負担)	400m	制限なし
5.0%	127m	制限なし (3名:175m)
7.9%	76m	250m

※車椅子使用者7名、高齢者13名による実験
 出典：事業評価を通じた地域公共交通確保維持改善事業の効果的な実施に向けて・ガイダンス
 (国土交通省総合政策局、平成25年11月)



(4) 上位・関連計画におけるまちづくりの方向性

「ゆがわら 2011 プラン湯河原町新総合計画（平成 28 年 3 月）」、「湯河原町都市マスタープラン（平成 21 年 3 月）」、「湯河原町まち・ひと・しごと創生総合戦略プラン（平成 29 年 3 月改訂）」の上位計画及び関連計画におけるまちづくりの方向性、公共交通の位置付け等について整理・把握する。

①ゆがわら 2011 プラン湯河原町新総合計画

【計画期間】 平成 23 年度～平成 32 年度

【まちの将来像】 『湯けむりと笑顔あふれる四季彩のまち 湯河原』

【まちの将来像を実現するための5つのまちづくりの基本目標】

- ①産業・観光 魅力と活力にあふれるにぎわいのあるまちづくり
- ②保健・福祉 ともに支えあい笑顔で暮らせるまちづくり
- ③都市環境防災 四季彩と暮らしが調和した安全・安心のまちづくり
- ④文化・教育 生涯を通じて学び豊かな心を育むまちづくり
- ⑤行財政運営 みんなでつくる自立と協働のまちづくり

【基本目標 3 - V（交通通信網の整備） - 2（公共交通）】

[基本方針]

鉄道交通の増便などについては、町単独で要望しても実現が難しいことから、近隣市町及び町民と協力して、早期実現に向けて、関係機関に要望していきます。また、コミュニティバスの運行について、利用者の利便性の向上を図るための対策を講じるとともに、町内の交通不便地域対策についても検討していきます。

[主要施策]

①鉄道交通の充実

「神奈川県鉄道輸送力増強促進会議」において、近隣市町と調整し、地域住民の交通の利便性が確保できるよう、引き続き湘南新宿ラインの延伸、快速電車の増便、駅ホームの屋根の増設などをJRに要望していきます。

②バス交通の充実

現在、湯河原駅から真鶴駅間で運行しているコミュニティバスについて、利用者の意見を聞き、利便性の向上を図るための運行時間、運行本数、運行路線などについて各種機関と協議し、検討していきます。

②湯河原町都市マスタープラン

【計画期間】平成 21 年～平成 37 年

【都市づくりの基本理念】

- ① “湯河原らしさ”を大切にした都市づくり
- ② “豊かさと快適さ”を实感できる都市づくり
- ③ “町民主体”の協働の都市づくり

【目指すべき将来都市像】『みどり・歴史と共生する 快適文化創造都市 湯河原』

【将来の都市空間構造】

- 中核的な都市機能が集積立地する拠点と軸の形成
(広域商業拠点：国道 135 号沿道地区、都市中心拠点：湯河原駅周辺地区、観光拠点：温泉場地区・奥湯河原地区・町道オレンジライン沿道地区、海洋交流拠点：福浦漁港周辺地区)
- “みどり・歴史・景観”を活かした快適環境の拠点と軸の形成
- 様々な活動・交流を支える交通ネットワークの形成
(交通拠点：湯河原駅、公共交通軸：J R 東海道本線)
- 立地特性を活かした魅力ある都市環境の形成



【公共交通の整備方針】

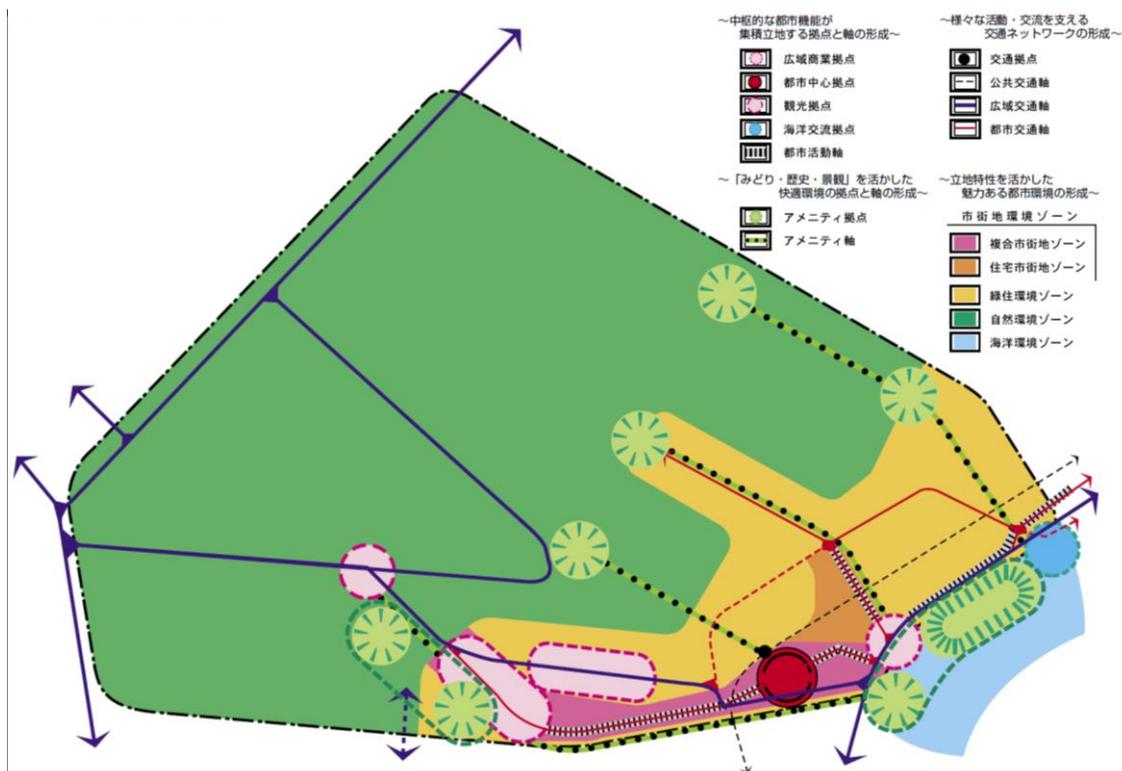
(鉄道)

- 周辺諸都市との交流の維持・増進、広域圏との交流拡大と観光需要に対応しうる利便性を確保するため、湘南ライナーの延長、快速電車の増便、特急の停車等、J R 東海道本線の輸送力の維持・増強を関係機関に働きかけます。

(バス交通)

- 子供や高齢者などの交通弱者や観光客の利便性を確保するため、湯河原駅及びその周辺商業地や主要な公共施設や観光地に対する円滑なアクセスが可能となるよう、バス交通の輸送力の維持・増強を関係機関に働きかけます。
- 現在、湯河原駅～真鶴駅間の交通不便地域で運行しているコミュニティバスについては、今後とも維持・増強に努めます。

■将来都市空間構造



③湯河原町まち・ひと・しごと創生総合戦略プラン

【計画期間】 平成 27 年度～平成 31 年度

【まちの将来像】 『湯けむりと笑顔あふれる四季彩のまち 湯河原』

【基本目標】

- ①湯河原町にしごとをつくり、町内で就労できるようにする
- ②湯河原町への新しいひとの流れをつくる
- ③結婚・出産・子育てしやすい環境をつくる

④人口減少・高齢化社会に対応したまちづくりを進める

→ **【基本的方向】** 高齢者社会への対応、人口減少社会への対応、健康長寿日本一の実現を目指す



【交通不便地域の解消に向けた事業】

高齢者など交通弱者を含め多くの方が気軽に安全におでかけできるよう、バス路線のない交通不便地域の解消に向けた対策を検討・実施する。

《K P I（重要業績評価指標）》

：新たな交通対策の利用者数：目標値・平成 31 年度 20,000 人

《今後の検討事項等》

- ・湯河原町地域公共交通会議において交通不便地域の解消に向けた検討
- ・新たな公共交通による実証実験を実施
- ・地域公共交通に係る計画を策定予定

(5) 公共交通に関するアンケート調査結果

路線バス等が運行していない地域（約 2,200 世帯）を対象に、日常での移動交通手段や今後の公共交通に関する考えなどを把握するため、アンケート調査を行った。

調査対象者	・路線バス等が運行していない地域（約 2,200 世帯）のうち、湯河原町に在住する 1,000 世帯を無作為抽出。 ・回答者は、世帯内で最もバスを利用している方あるいは世帯主。
調査期間	平成 27 年 11 月 6 日（金）～11 月 20 日（金）
調査方法	郵送配布、郵送回収
回収状況	573 世帯（回収率 57.3%）

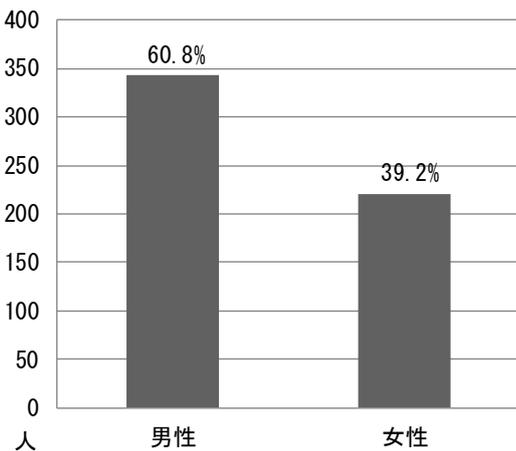
1) 回答者の属性

性別は男性が、年齢は 70 歳以上が 44.6%と最も多く、60 歳以上では 72.9%を占めている。

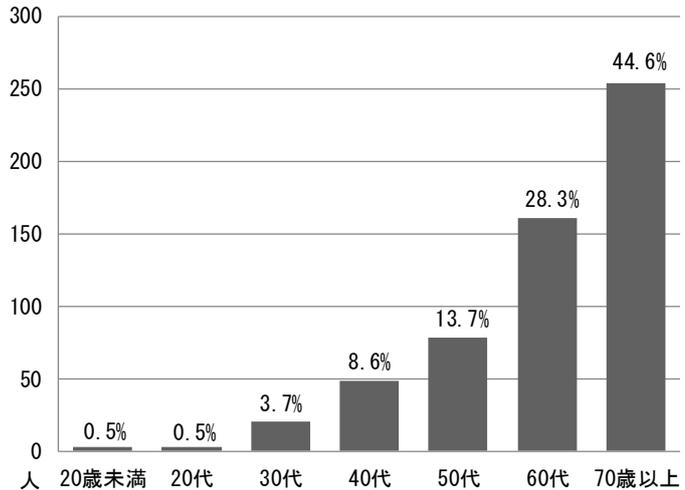
自動車運転免許の所有状況は、所有者が多く、所有していない方の割合は 23.9%を占めている。

自動車（バイク）の運転状況は、運転しない方の割合が 36.6%を占めている。

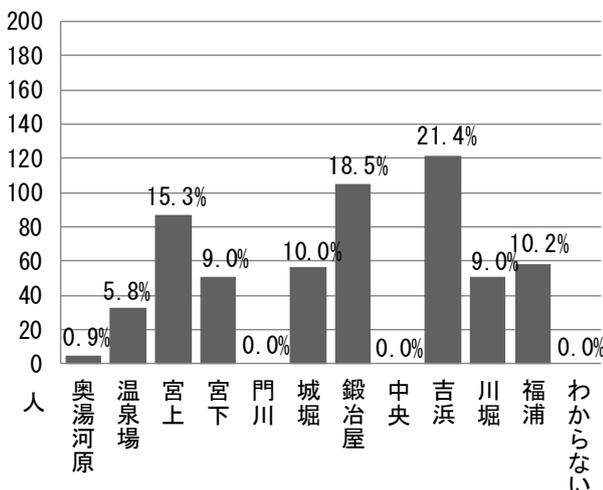
■性別



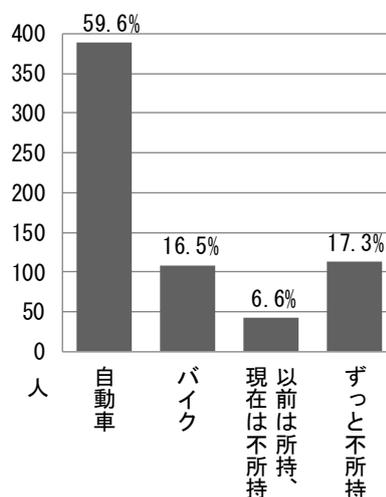
■年齢



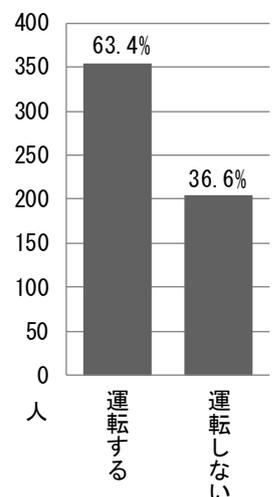
■住まいの地区



■運転免許証の有無



■自動車（バイク）の運転有無

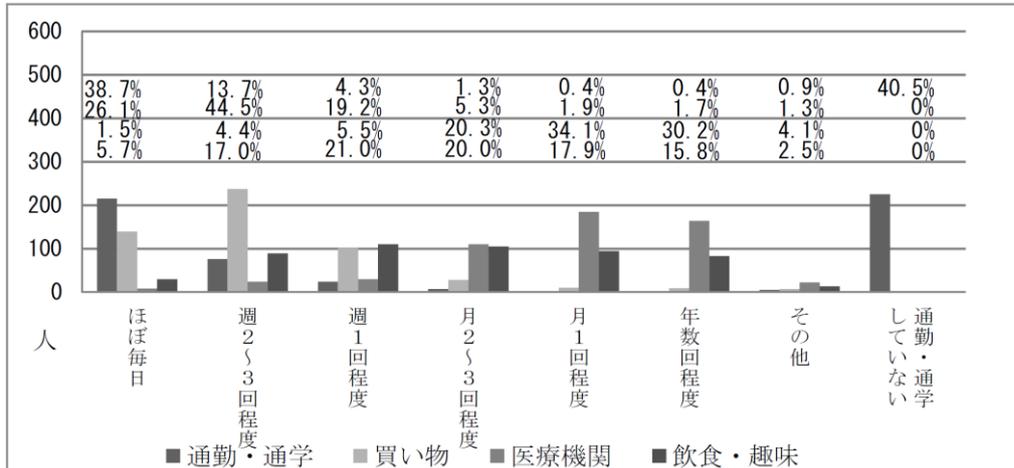


2) 普段の外出実態

①出かける頻度

出かける頻度は、通勤・通学は「ほぼ毎日」、「週2～3回程度」の割合が多く、買い物は週1回以上が89.8%を占めており、医療機関は「月1回程度」、「年数回程度」の割合が多く、飲食・趣味は「週2～3回程度」から「年数回程度」まで平均化している。

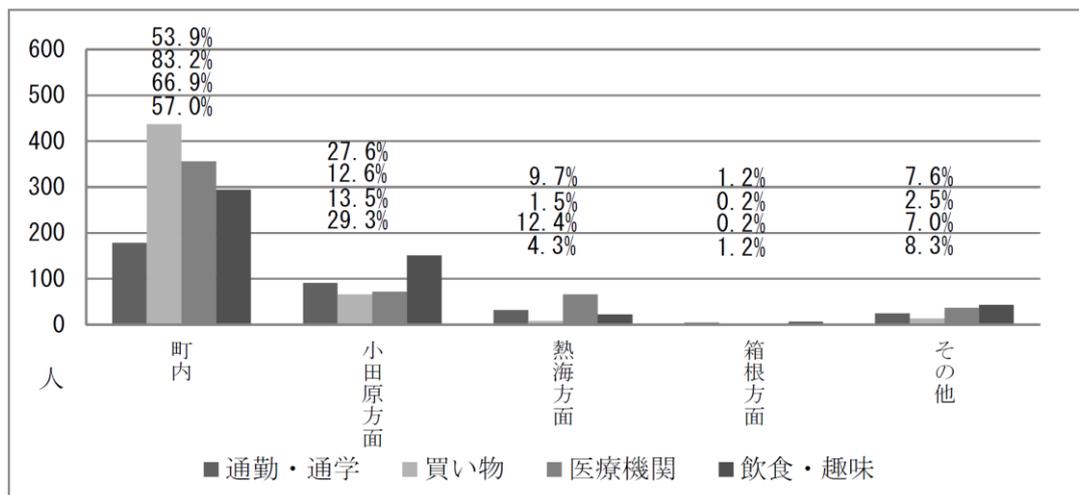
■出かける頻度 (※率は、上から「通勤・通学」「買い物」「医療機関」「飲食・趣味」の順)



②主な行き先

主な行き先は、全ての目的で「町内」が最も多く、特に買物目的で83.2%と圧倒的に多い。次いで、全ての目的で「小田原方面」が多く、医療機関目的で他の目的と比較して「熱海方面」が多い。

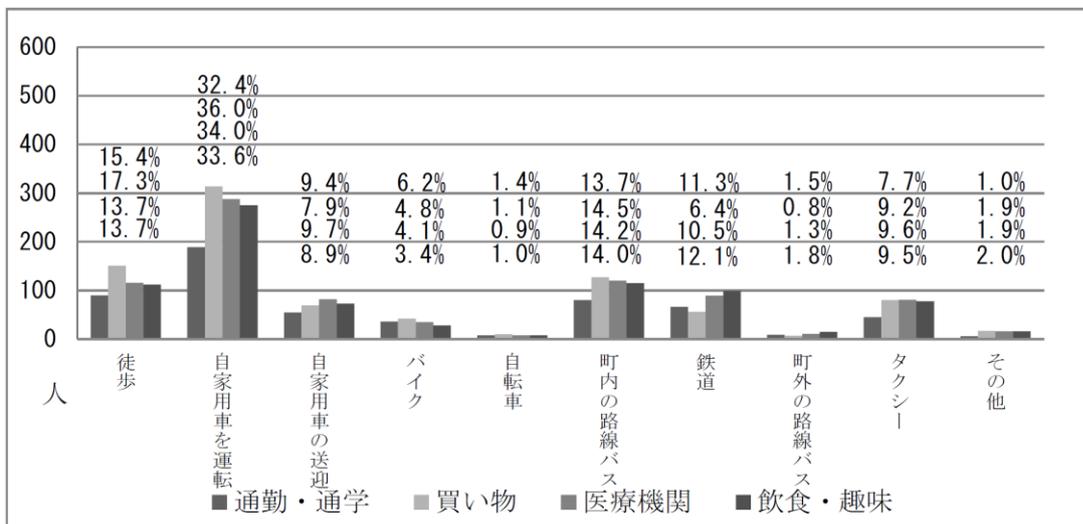
■主な行き先 (※率は、上から「通勤・通学」「買い物」「医療機関」「飲食・趣味」の順)



③主な交通手段

主な交通手段は、全ての目的で「自家用車を運転」の割合が最も多く、「町内の路線バス」の割合は14%前後、「タクシー」の割合は9%前後を占めている。

■主な交通手段 (※率は、上から「通勤・通学」「買い物」「医療機関」「飲食・趣味」の順)



④路線バスの利用状況

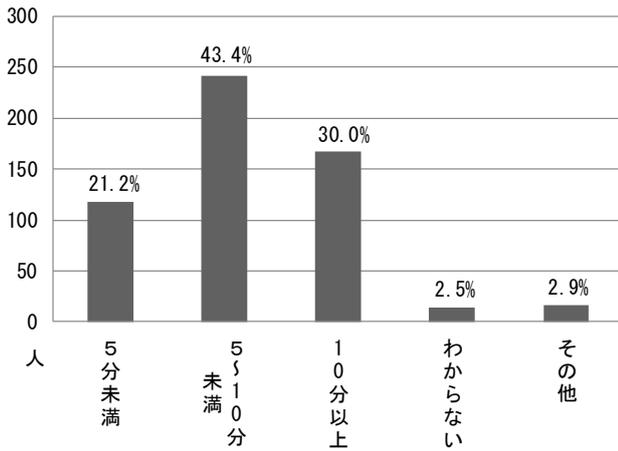
自宅から最寄りバス停までの徒歩時間は、5分以上の割合が73.4%を占めている。

路線バスの利用頻度は、「使わない」、「年数回程度」の割合が58.0%と多く、週1回以上が26.2%を占めている。

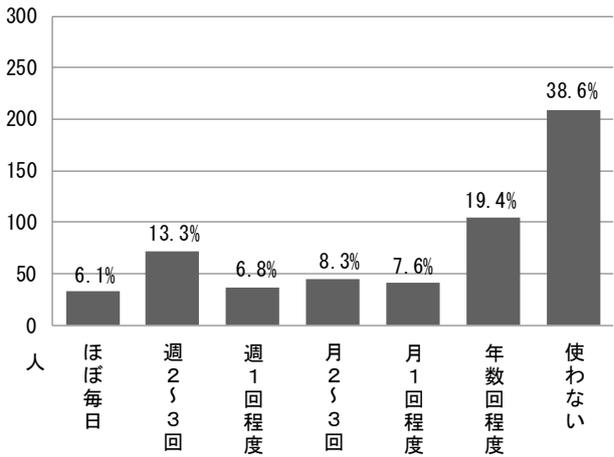
路線バスの利用目的は買物が多く、町内の移動先は駅（湯河原駅、真鶴駅）が31.7%、買い物に行く割合が30.5%を占めている。

路線バスに対する不満・改善点は、「バス停が遠い」、「本数が少ない」、「時間帯」に対する意見が多く、「料金」への意見は少ない。

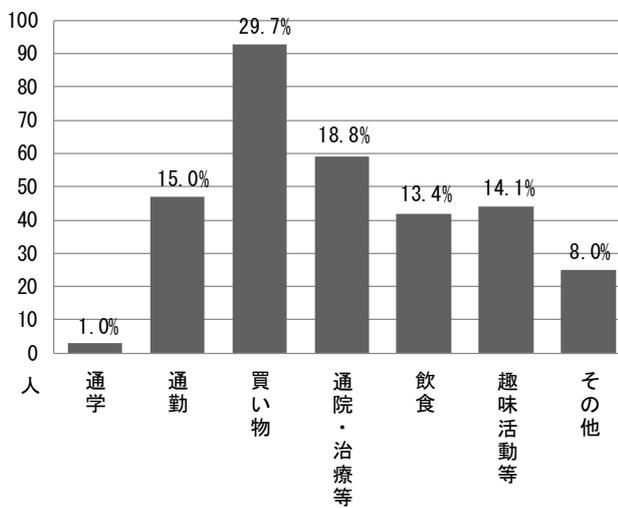
■ 自宅から最寄りバス停までの徒歩時間



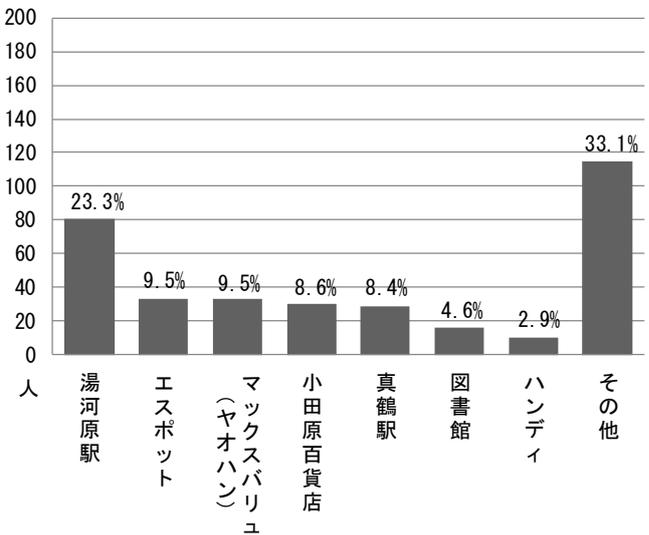
■ 利用頻度



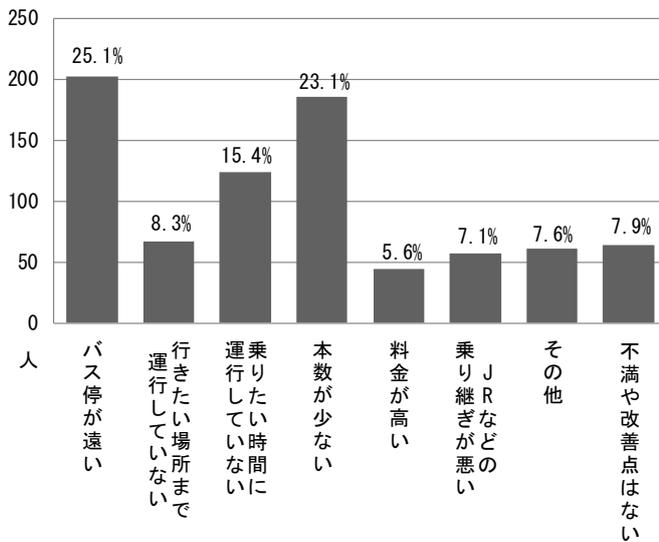
■ 路線バスの利用目的



■ 路線バスで行く主な町内の移動先



■ 路線バスに対する不満・改善点



⑤仮に自宅近くに路線バスが運行した場合の利用意向

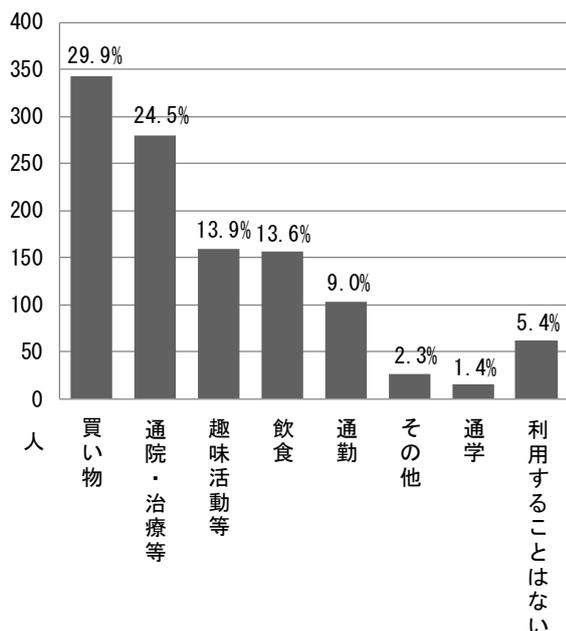
仮に自宅近くに路線バスが運行した場合の利用場面は、「買い物」、「通院・治療等」でのニーズが多い。

利用時間帯は、午前8時から12時までのニーズが多く、午後はどの時間帯も平均したニーズとなっている。

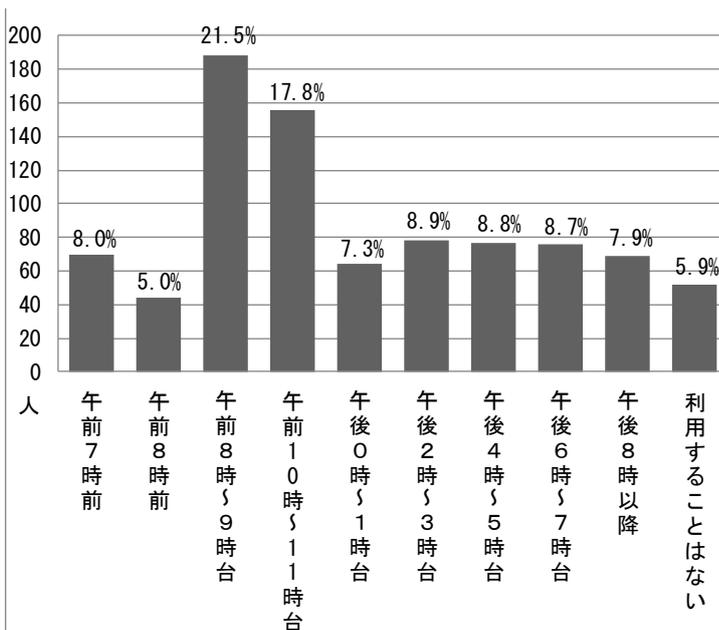
1週間の利用頻度は、「往復1回～3回程度利用」割合が多い。

自宅から湯河原駅までの片道料金の支払い意向は、200円以下のニーズが多い。

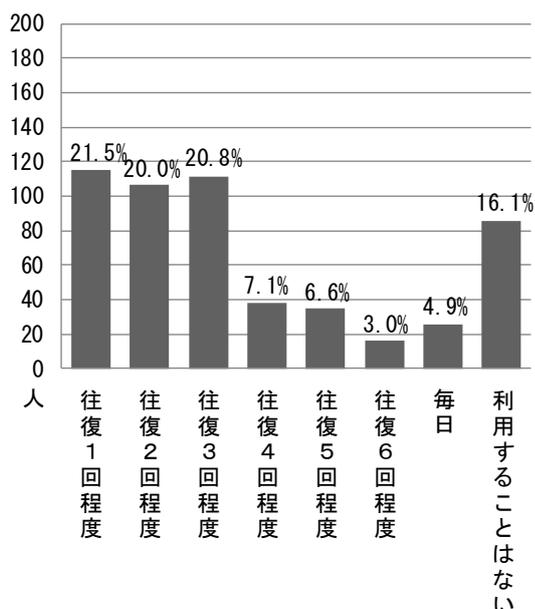
■路線バスを利用する場合の利用場面



■多く利用する時間帯



■1週間の利用頻度



■自宅から湯河原駅までの片道料金の支払い意向

